



作成日： 2025年4月1日

いいモノづくりはいい空間づくりから
我々は大阪の地場産業「モノづくり」を応援する建築会社です

2024年度環境経営活動レポート

2024年3月1日～2025年2月28日（第12期）

株式会社荻田建築事務所



もくじ

■環境への思い・環境経営方針	02
■経営理念	03
■組織の概要と認証・登録の対象	04
■第12期売上	05
■施工事例	07
■主な環境負荷の実績・環境目標	09
■環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容	10
■環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無	16
■認定取得	17
■BCPへの取組	17
■SDGsへの取組/環境経営活動への取組	18
■社内コミュニケーション活動	19
■代表者による全体の評価と見直し・指示	20



環境への思い

産業革命以来、人類は技術的革新を繰り返すことで、発展を続け豊かな生活を享受してきた。

同時に地球資源を採掘・利用し、技術革新をすることで、また新たな資源を発見してきた。

その歩みを止められるものではないが、今一度、その歩みを振り返ることも必要ではないかと考える。

それは普段、便利に慣れ当たり前と思っていることに目を向け、資源エネルギー・環境について自らの問題として意識し、これまでと違った方策を考え、自主的・積極的に活動することで、より良い豊かな「未来」を想造する機会とする。

制定日：2014年 9月25日

改定日：2023年 7月4日

■環境経営方針

1.具体的に下記のこととに継続して改善活動に取り組みます。

- ① 電力および自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- ② 資源を大切にするとともに、廃棄物の削減に努めます。
- ③ 節水に取り組みます。
- ④ 塗料溶剤等は有害な化学物質の低減に努めます。
- ⑤ お客様へ環境に配慮した建物、機器類の提案、採用に努めます。
- ⑥ 国産材を使用した建築設計で自社ブランドと企業価値の向上を目指します。

2.環境関連法規制や当社が約束したこと遵守します。

3.環境方針は全従業員及び協力業者へ周知するとともに、取り組みを環境活動レポートとして取りまとめ、一般に公表します。



■経営理念

- ・我々は建物づくりを通して
顧客の永きに渡る「人生」に貢献し、共に歩む
- ・我々は自らの成長を信じ、自らを
表現し続けることで新たな「自身」を開拓する
- ・我々は地域と共に暮らし、広く世界と結び
豊かな「未来」を想造する

株式会社荻田建築事務所
代表取締役



荻田 晃久



工工仕事しまっせ！工工会社になるぞ！



■組織の概要と認証・登録の対象

(1) 名称及び代表者名 全社認証登録範囲（対象外無し）

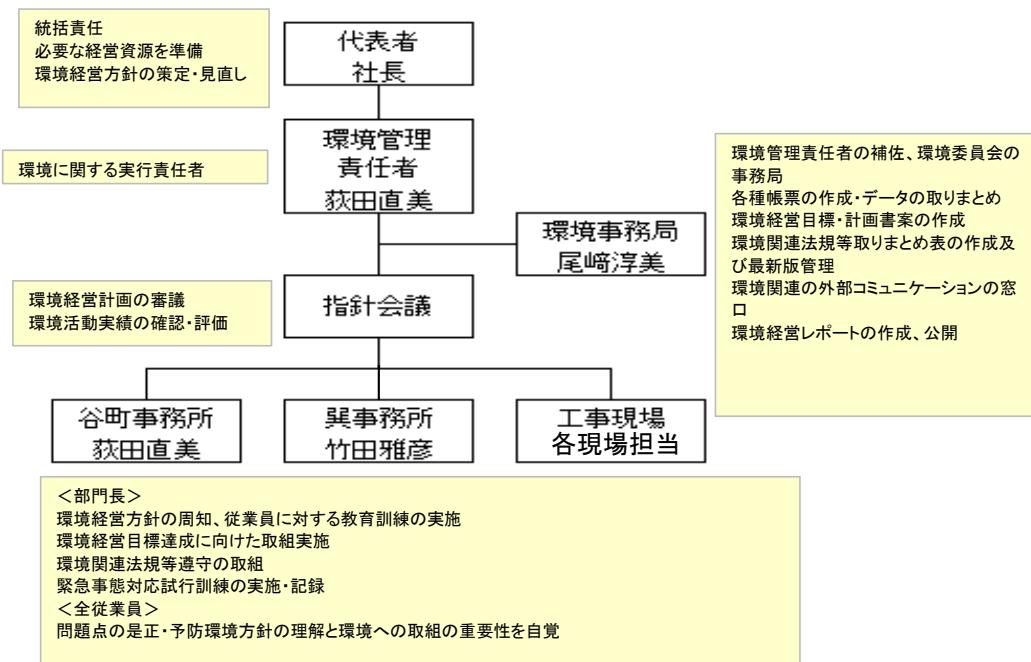
株式会社荻田建築事務所
代表取締役 荻田 晃久

(2) 所在地

谷町事務所：大阪市中央区安堂寺町1-2-17 ibox3F
異事務所：大阪市生野区巽東1-1-32

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者・担当者 荻田 直美 e-mail : n-ogita@o-ken-design.com

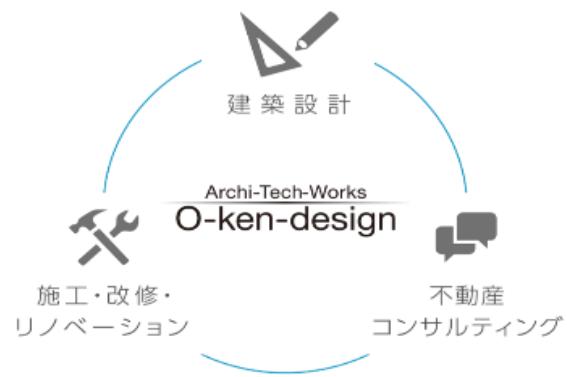


更新日： 2025年4月1日



(4) 事業内容

工場・倉庫・テナント・戸建住宅等の設計及び施工管理、リフォーム



(5) 事業の規模

受注高 **285,056** 千円(税抜)
 主要工事件数
 新築工事 3 件
 改修・設計 142 件

	谷町	巽	合計
従業員 (人)	1	7	8
延べ床面積 (m ²)	38	110	148

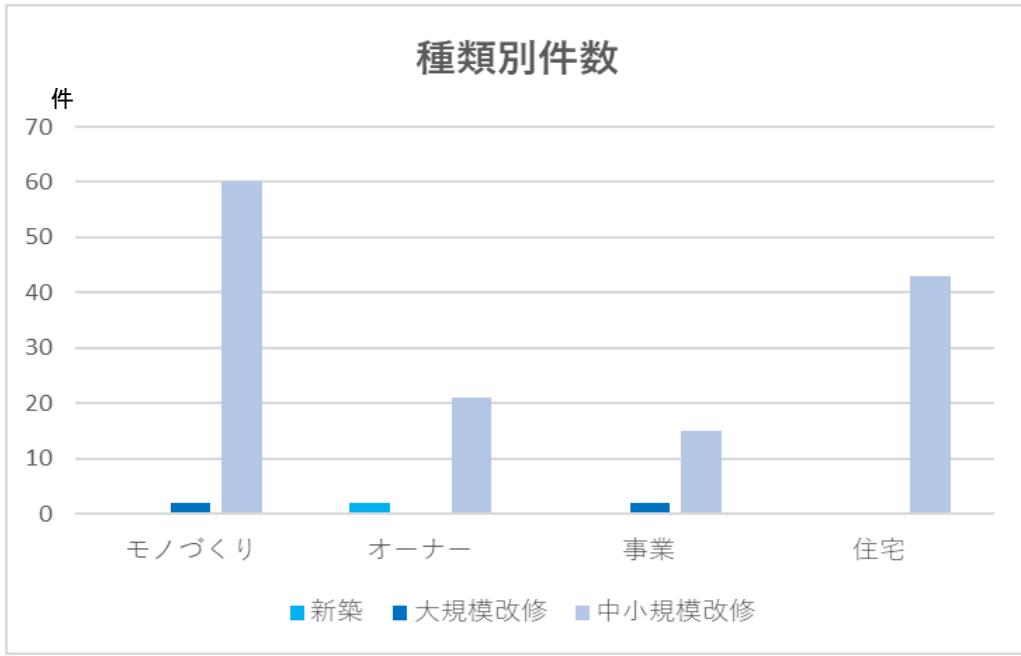
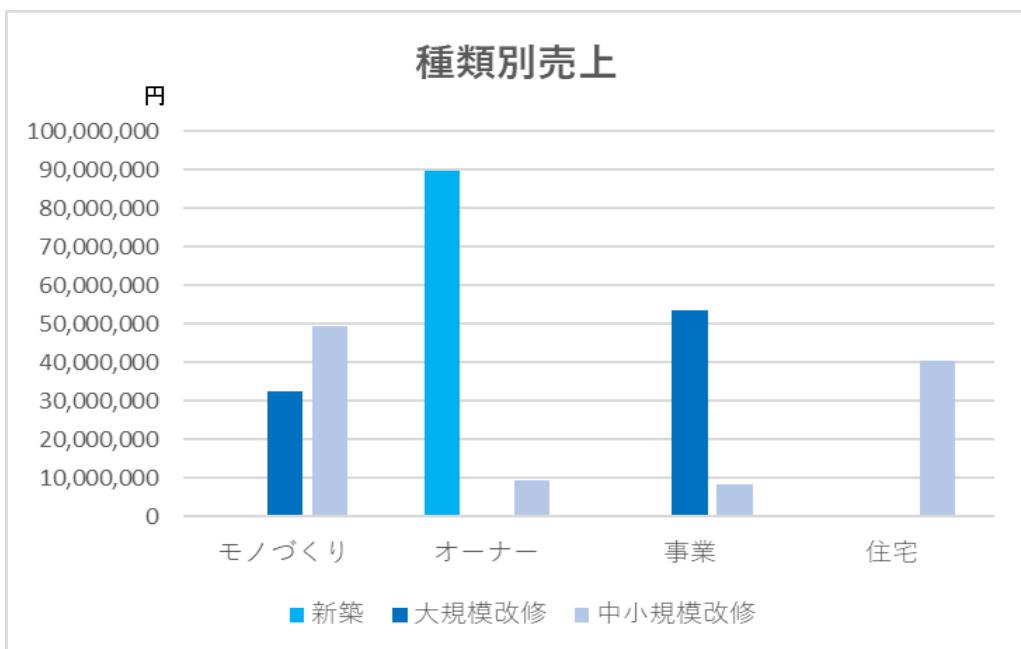
※代表含

■第12期売上

(1) 売上グラフ

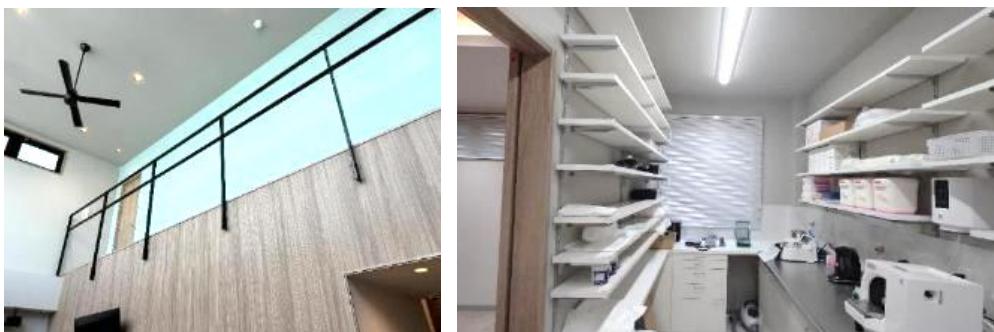


(2) 項目別



■施工事例

*新築店舗兼事務所



吹抜の受付待合スペースがとても気持ちの良いクリニック。躯体・外構工事のご依頼頂きました、鉄骨2階建ての建物です。キッズスペース付ファミリールームの個室やバリアフリーなど、丁寧で安心安全な診察をモットーとしておられ、患者様に寄り添った治療がとても魅力的です。



* 工場改修



お客様に操業していただきながらの工事案件です。とても大変でしたが事故なく無事終えることができました。



初回打合せから丸3年をかけて、倉庫棟改修、新工場新築、既存工場の改修まで。
地鎮祭、上棟式、火入れ式、落成式と式典には4回も出席させていただきました。





■主な環境負荷の実績・環境目標

(1) 主な環境負荷の実績

項目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	13,685	10,647	8,521
廃棄物排出量	kg	41,117	23,618	15,505
一般廃棄物排出量	kg	27	38	35
産業廃棄物排出量	kg	41,090	23,580	15,470
水使用量	m ³	30	40	25

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.514 kg-CO₂/kWh

(2) 環境目標・実績

項目	年 度	基準値	2024年		2025年	2026年
		(基準度)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
① 電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	3,158	3,158	3,303	3,126	3,094
	基準年比	2022年	100%	105%	99%	98%
	売上当たりCO ₂	kg-CO ₂ /千円	0.00596	0.00596	0.01159	0.00590
② 自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	8,108	7,946	5,103	7,865	7,784
	基準年比	2022年	98%	63%	97%	96%
③ 上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	11,266	11,104	8,406	10,991	10,878
	kg	27	27	35	26	26
④ 一般廃棄物の削減	kg	27	27	35	26	26
	基準年比	2022年	100%	131%	99%	98%
⑤ 混合廃棄物の削減	混合廃棄物率	86%	84%	100%	82%	80%
			行動目標による			
⑥ 水道水の削減			行動目標による			
			行動目標による			
⑦ 塗料溶剤等の提言		化学物質は自社の使用ではなく、設計上の配慮と現場監視で適正管理して				
			行動目標による			
⑧ 設計・施工の環境配慮			行動目標による			
			行動目標による			
⑨ 国産材使用のブランド化			行動目標による			
			行動目標による			

*灯油は含まない



■環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標：○達成 ×未達成

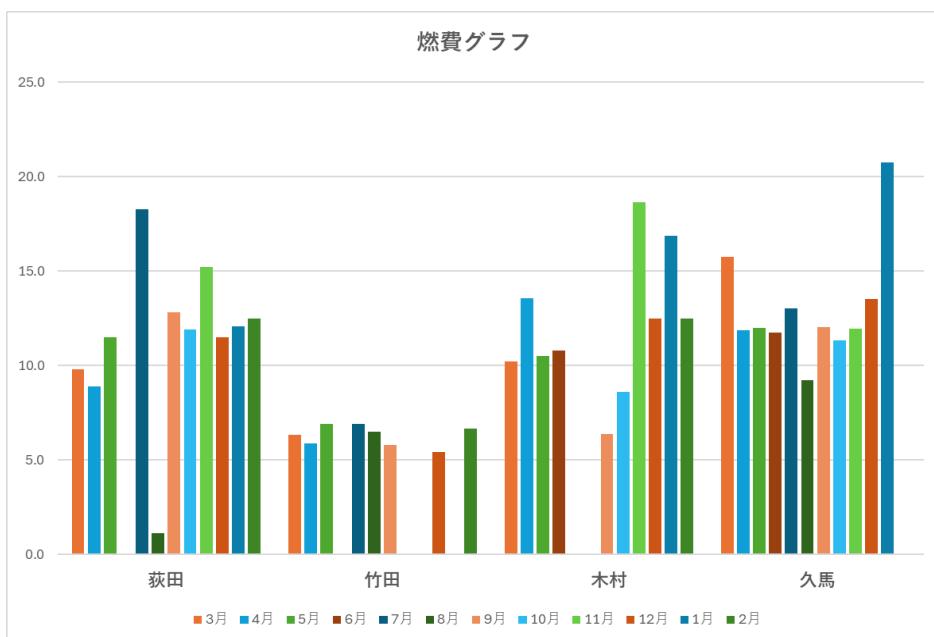
活動：○できた △あまりできなかった ×全くできなかった

①

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減		
数値目標（売上当たり）	×	
数値目標(谷町事務所)	×	
数値目標(巽事務所)	×	
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	○	
・空調フィルターの清掃	○	夏に1台新しいエアコンの入れ替えもあったせいか、体感的に昨年より稼働させている時間は多いと思うが、数値目標はクリアできなかったが思ったより多くなっていない。冬も暖かい日は扈になつたらオフにするなどしながら、必要な時に使用するように心がけた。来年も換気を取り入れながら使用していく。
自動車燃料による二酸化炭素削減		
数値目標	○	
・自転車の利用	○	
・公共交通手段の採用	○	
・エコドライブ	○	今期全体を通して近くの現場が多く、また車の乗り換えもあつたため、比較年よりも数値は低くなった。来期の目標は、遠くの現場も増える予定の為、80%とする。

(3) 環境記録に関わるグラフ

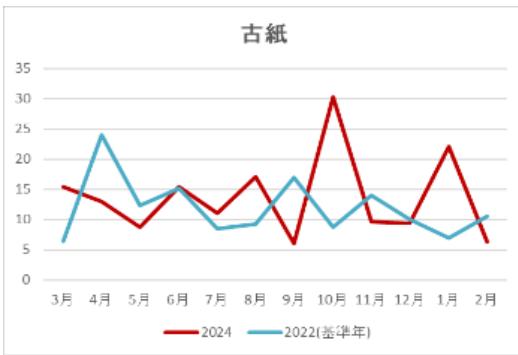
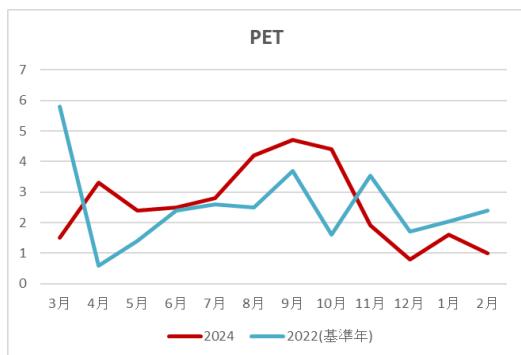
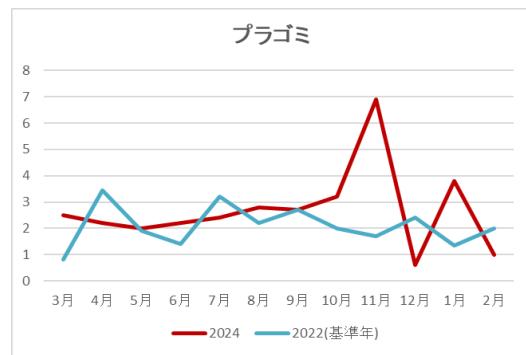
■燃費(km/L)



*事務所電力



*排出ゴミ



燃えるごみのみ数値として記録し比較しているが、一緒にプラスチックゴミ、ペットボトル・缶燃えるごみ、古紙と排出量をグラフにしている。

今期は春から人数も増えて、燃えるごみに関して全体的に多くなっている。残念だが目標も達成できなかった。分別は意識してできている。

また、掃除当番忘が続いていたため、掃除当番をチーム編成にした。

社内の美化とともに、ゴミの削減、分別を引き続きつづけていく。



一般廃棄物の削減		
数値目標	×	
・分別の徹底(事務所、現場)	○	人数が増えた分、全体的なゴミの量は基準年より増えている。分別はきちんとできていて、ペットボトルもラベルやキャップも分けて捨てる事ができている。
・両面コピーの採用	○	来期も引き続き分別しながら、排出量を意識しながら減らしていくように心がけていきたい。
・プリントアウト前のチェックによるミスプリントの削減	○	
混合廃棄物の削減		
数値目標	×	
・可能な限り現場合分けを減らす	×	今期は100%混合での産廃となった。来期は新築も多い予定なので分別も意識したい。
・可能な限り分別排出	×	
・マニフェスト管理（適正管理の監視）	△	
水道水の削減		
数値目標	○	
・節水シールの貼り付け	○	掲示は引き続きしている。古くなったものは都度交換し、現場のメンバーに意識してもらえるよう心がけていく。
・シールの貼れない場所ではプラカードを掲げる	○	
塗料溶剤等の低減		
塗料溶剤等の低減		
塗料溶剤等は有害な化学物質の低減に努める		化学物質は自社の使用ではなく、設計上の配慮と現場監視で適正管理している。

■環境に配慮した建物、機器類の提案、採用

3案以上提案し、3案採用されたら目標クリアとした

環境施工、設備を提案し、3案以上採用されたのは13件あった。住宅関係では節水、節電機器が、工場系では遮熱、断熱材が当然になってきている。改修現場でもっと増やしていくようにしたい。



現場	目標	写真1	写真2	施工内容	摘要
現場1				その他	無電極ランプ まぶしくなく目に優しい 電気代が水銀灯の半分で省エネ
				LED	他の照明器具はLEDを採用
現場2				空調	省エネタイプの空調に取替 地球温暖化への影響が少ない ガスを使用した機種



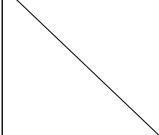


現場	目標	写真1	写真2	施工内容	摘要
現場3	○			節水	トイレ入れ替えにあたり節水タイプの便器を採用(大5L/小3.8L)
				遮熱・断熱	屋根面に遮熱シートを施工、天井裏に断熱材を敷設し、屋根からの熱をシャットアウト
				LED	各室の照明器具はLEDを採用
現場4				節水	新規手洗い場に設置したのは、節湯型の水栓
現場5				遮熱・断熱	経年劣化した屋根面に日射反射率の高い塗料を上塗りすることで、劣化防止と遮熱効果を高める
				遮熱・断熱	"
現場6	○			遮熱・断熱	折半屋根むき出しの部分に遮熱シートを敷き込み。 サーモ写真でもわかるよう熱をシャットアウト
				遮熱・断熱	"
				遮熱・断熱	"
				遮熱・断熱	"



現場	目標	写真1	写真2	施工内容	摘要
現場7				節水 LED	タッチレスで節湯水栓、節水タイプの便器、ecoハンドル等 採用した照明器具はすべてLED
現場8				節水	ユニットバス改修に伴い、断熱浴槽、節湯水栓を採用
現場9				遮熱・断熱	"
現場10	○			開口部	北側開口部には内窓を設置 窓からの熱の出入りを軽減
				節水	トイレ入れ替えにあたり節水タイプの便器を採用(大5L/小3.8L)
				LED	採用した照明器具はすべてLED
				遮熱・断熱	公団改修 北に面する外壁はカビが発生していたため、断熱材を新たに投入して壁を仕上げた
現場11				遮熱・断熱	シャッター部分にビニルカーテンを新設。シャッターを開けた状態でも熱の出入りをさえぎることができた
				遮熱・断熱	"



現場	目標	写真1	写真2	施工内容	摘要
現場12	○			緑化	エントランス脇に植栽を設けた
				遮熱・断熱	屋根面に遮熱シート、天井裏に断熱材充填し、屋根面からの熱を軽減
				遮熱・断熱	"
現場13				開口部	内窓を設置することで窓からの熱の出入りを軽減
現場14				節水	キッチン入れ替え 節湯・節水型の水栓を採用
現場15	○			節水	倉庫の水栓取替に 節水型を選択
現場16				LED	工場照明器具取替に LEDを採用
現場17	○			LED	工場機械配置変更に伴い、照明器具取替時にLEDを採用
現場18	○			その他	スポット気流を採用、作業場内の温度ムラをなし者エネに
現場19	○			LED	作業場の照明を LEDに交換
現場20	○			節水	浴室水栓を節水型に取替
現場21	○			LED	駐車スペースにLED照明を設置
現場22				LED	工場照明器具取替にLEDを採用
現場23	○			LED	作業場の照明をLEDに交換
現場24				その他	給湯器取替にあたり潜熱回収型給湯器を採用
現場25	○			節水	浴室改修時に節湯・節水水栓に取替
				遮熱・断熱	浴室改修時に断熱浴槽を採用
				開口部	内窓、ペアガラス、実測ドアを断熱仕様、開口部の断熱性能をUP
現場26	○			遮熱・断熱	遮熱シート&天井裏断熱材敷込で屋根からの熱を軽減
				節水	節水トイレの採用
				LED	照明器具はLEDを採用
現場27				節水	トイレ改修にあたり節水タイプの便器を採用(大5L/小3.8L)
				LED	玄関ポーチ灯 LED、センサー付きに取替



⑥

■国産材を使用した建築設計で自社ブランドと企業価値の向上を目指す

指針計画書にて年間の目標、行動を立てています。



荻田建築事務所の

4つのこだわりポイント

1. 国産材でお家づくり

高知の土佐材や奈良の吉野材などの国産材を使ってお家づくりしています。体に害のない自然素材を使用しているため小さなお子様も安心して過ごすことができます。

3. 断熱で暖かく涼しく

お家を暖かく、涼しく室外の影響を受けにくくします。室温保ちやすくするために高性能な断熱材を使用して家づくりしています。

2. 耐震等級の取得

これから災害対策として建築基準法で定められている耐震性能よりも約1.5倍の「耐震等級3」の取得を基本仕様としています。

4. 気密もしっかり

室温を一定の温度に保つために目には見えない隙間などを減らし快適な空間を作り出します。断熱性能と密接な関係を持ち、高断熱・高気密住宅の実現に必要不可欠な性能です。

■環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、建設副産物
建設リサイクル法	建設副産物
騒音・振動規制法	建設機械の使用時の届出
消防法（危険物）	シンナーの保管
フロン排出抑制法	業務用空調機、冷凍機
建築物省エネ法	省エネ基準の順守、全ての新築住宅・非住宅に省エネ基準適合を義務付
顧客要求事項、	指定化学物質の管理（非使用、基準遵守等）・省エネ設備の要望・提案など
現場周辺地域の要求事項	施工前の周辺からの要望（振動・騒音・施工時間・粉じん等）

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反の指摘、訴訟等は過去ありませんでした。



■認定取得

健康経営優良法人2025の取得

昨年に続き、健康経営優良法人2025の取得を目指し、計画をたてて認定を取得することができました。



事業継続力強化計画認定の取得

2023年8月に
事業継続力強化計画認定の取得をしました。

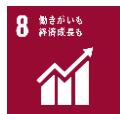
株式会社荻田建築事務所
代表取締役 荻田 晃久 殿

近畿経済産業局長 三浦 章豪

事業継続力強化計画に係る認定について

令和5年8月17日付けをもって申請のあった事業継続力強化計画については、中小企業等経営強化法第56条第1項の規定に基づき認定する。

■BCPへの取組



弊社ではBCP(事業継続計画)を策定しています。



感染症対策として事務所内に空気清浄機を設置。現場用にも消毒液の噴霧機等を導入。感染予防対策に役立てています。



■SDGsへの取組



 O-Ken-Design Archi-Tech-Works 18

2024年度【12期】 經營方針 行動計畫

* 仕事や活動を通して繋がりが深い目標をそれぞれの方針に表示しました。



* その中で主に繋がりが深い目標を1つ選択し、全体目標として表示しました。



■環境経営活動への取組

地域材の活用

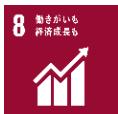


地域材をつかうことにより、森林の循環を担います。森林整備がすすめば、森林によるCO₂吸収量の増加、森林の保水力による豪雨災害の防止など、環境をまもることにつながっていきます。

パナソニックスタジオ見学



パブリック商材のスタッフを見学。お客様の声を取り入れた「あつたらいいな」という品がたくさんあり、選定、利用するだけでなくお客様との打合時からそういう視点を意識して向き合うことが大事だと感じました。



O-Ken-Design
Archi-Tech-Works

19

■社内コミュニケーション活動



マンハ尾さんのモデルハウスにお邪魔しました。
SW(スーパー・ウォール)工法の現場も見学。次に活かしていきたいです。



今年の研修旅行は鹿児島！
お客様の鹿児島工場にもお邪魔させていただきました。



大阪わかそうに出店。大学生の参加も多く、中小企業の魅力を伝えてきました。



2回目のビジネスフェアに出展。
多くのお客様に来ていただくことができました。



今年も生野工業高校の生徒さんを探求の授業として受け入れて、遮熱材の実験をしたり、実際の現場の模型を作成したりしました。



■代表者による全体の評価と見直し・指示

2024エコアクション活動としての総括として、まずは環境配慮提案件数が昨年35件だったのが45件に伸びたことを評価したい。提案現場数も13現場から27現場に倍増し、環境提案する意識が各担当に浸透している証しだと思う。大きく分けると照明・トイレ・空調などの環境配慮機器の導入と二重サッシを含めた断熱遮熱気密改修提案が大半であるが、緑化提案もありパートナーが増えている。今後は、住宅非住宅に分けることで、より分かりやすい提案資料作成などにつなげたい。昨期に初めて完成したZEH住宅は、今期新築できなかったが来期にZEHモデルハウス新築を計画しており、我が社の環境対応住宅建築事業を今後の事業の柱に育てていきたいと思う。非住宅分野では初めて木造店舗事例の新築があり、木材使用量20m³で炭素貯蔵量CO₂換算で16 tという結果が出た。環境対応としては喜ばしいことであるが、テナント物件であるため断熱レベルはあまり高くなかったのが残念である。4月に建築基準法が改正され、省エネ適応が義務化されるなど、非住宅建築にも省エネに対する意識を高めることで高気密高断熱高遮熱物件の新築をすすめていきたい。また弊社新事務所新築プロジェクトが立ち上がり、今期以降初めてのZEB建物を中大規模木造で挑戦していく。住宅非住宅に問わらず「木造」化を弊社の一つの目標としていきたい。



代表取締役 萩田晃久

次年度の環境経営方針、環境経営目標・計画、実施体制は変更ありません。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/>	変更なし	<input type="checkbox"/>	変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/>	変更なし	<input type="checkbox"/>	変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/>	変更なし	<input type="checkbox"/>	変更あり

近隣現場が多かったことによる影響が大きいものの、社用車使用量の減少により二酸化炭素排出量の目標を達成できた。一方で人員増加に伴い事務所ゴミの量が増加した課題もみられた。引き続き分別等を徹底し、印刷ミスを減らす等削減に努めていく。

担当 尾崎淳美





O-Ken-Design
Archi-Tech-Works

株式会社 荻田建築事務所

